

# 木もれ日 通信

Komorebi Tsushin

第61号

平成29年4月

つきだて花工房発  
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなめぐりとやさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

足元ばかり見ていては  
見つかからない花  
時には上を回いて

昼間、里山を明るく照らしていた五月の太陽は山の端へ隠れた。山里の気は心地良い具合に冷え、ほとんど動かない。

聞こえてくるのは、近くに、遠くに、大きく、小さく、春を謳歌する蛙の声。そして川の水を引き込んだ用水の水音。思い出したように、ウグイスの声。

男は山の裾を巡る田の畔を、植え終えたばかりの稲を愛おしそうに眺めながら歩いて行く。幼い苗は、満面の田の水の中で頼りなげに揺らいている。「無事根付くだろうか」今まで何年となく米作りを繰り返してきたも、心配は尽きることがない。干ばつがないよう、風水害がないよう、目には見えない田の神に祈りながら、男は歩いて行く。

ふと、一陣の風が、昼間の太陽のぬくもりを残す温かい空気とともに、どこからか濃密な芳香を運んできた。急に鼻をつく強烈な香りに、男は顔を上げた。何もない。今たどってきた道を振り返ってみた。山の中ほどに、濃さを増しつつある夕闇の中でもはつきりとわかる白いものが、目に入った。

「おまえだったか。今年も会えたな」

男は独りごちて、また田の早苗に目を落として歩き始めた。鼻の奥に残るホオノキの花の香りを愛おしみながら。

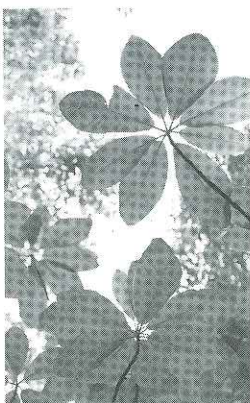
\*

「ホオノキ」は聞いたことがなくても「朴葉」といえばわかる人も多いだろう。殺菌作用があると言われる、芳香のある大きな葉を使う「朴葉寿司」や「朴葉味噌」、また「朴葉焼き」など、郷土料理でよく使われる。また、子供が遊ぶ（今の子供はどうだろうか）お面にもよく登場する。葉とともに、初夏に咲く花は日本一大きく、香りも強い。樹高が高く、その枝先に咲く花を近くで見るとはなかなか叶わないが。

芽吹きのあるころ、里山に入って天を仰ぐと、大きな葉をプロペラのように輪状に揺れているのはホオノキだ。初夏の明るい陽射しを空かして見るホオノキの葉の緑は清々しい。

\*

地域の人口流出、さらに原発事故以後、里山はほとんどうち捨てられてしまった。大きな資産となるはずだった杉林には藤がそここで花を咲かせ、蔓を杉の木に絡ませ、倒れてゆく。薪炭林では枯れ枝や笹が入るものを拒む。そんな里山で、ホオノキの花の香りは「忘れないうで」と、言っているようだ。





◆佐藤様 (伊達市月舘町)

ご家族で、お母様の卒寿(90歳)のお祝いをされました。お母様は以前、婦人会や老人クラブで活躍されていたらしいです。今は、川柳を詠むのを楽しみにされているそうです。いつまでもお元気でお過ごし下さい。



◆小賀坂様 (伊達市梁川町)

88歳の福子様を囲み、ご家族で米寿のお祝いをされました。心のこもった絵や手紙、フラワーアレンジをプレゼントされていました。またおばあちゃんの顔をデザインしたケーキもご用意され、食べるのがもったいないようでした。



お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思いが詰まったつぎだて花工房の宝石箱です



◆新妻様 (南相馬市)

仲の良いお二人でご入浴に来られた際にチラシをご覧になり、応募された、花工房 20 周年記念のプレミアムチケットが、見事当選されました。料理をご堪能され、森の時計作りも体験されて、お米とあんぼ柿をお土産にお帰りになりました。



◆富永様 (福島市)

仲の良いお友達同士で、花工房の会席イベントにお越しいただきました。久しぶりのご来館で、思わず「お帰りなさい」と声をかけてしまいました。



◆味噌仕込み体験

人気の味噌仕込みの体験ですが、今年もリピーターの方がたくさん参加されました。昨年作った味噌で初めて味噌汁を作ったら、「なんか今日の味噌汁うまいね!」とご家族に言われ、「私が作ったのよ」と鼻高々でした、とおっしゃる方も。



◆柱沢スポーツ少年団バレー部様 (伊達市保原町)

小手小学校にて地元月舘愛宕スポ少様と交流試合の後、宿泊されました。いままでの思い出が詰まったビデオを鑑賞しながら楽しく過ごされました。また、5人の卒団生がいらっしゃるの事、思い出の1ページになりますように。





# モノ作りびとフェア

in つきだて花工房



イラスト/クウキ



例年見頃を迎えるポピーやバラを楽しみながらお気に入りのクラフト作品を探してみませんか？今回のモノ作りびとフェアでは豪華賞品があたるクイズラリーを開催！ほかに、人気ジャズバンド「ファジーネーブル」のライブ(5/27 14:00・無料)や、伊達鶏メンチカツなどの地元グルメ、木工クラフトや似顔絵のワークショップなど、楽しみがいっぱい！ぜひおでかけください！

お問合せ

モノ作りびとフェア実行委員会事務局

〒960-0903

福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7

TEL 024-571-1777

http://monozukuribito.com/



会場 つきだて花工房 (雨天決行)

駐車場 月館運動場 (つきだて花工房向かい・無料)

主催 モノ作りびとフェア実行委員会

共催 一般社団法人つきだて振興公社 伊達市月館総合支所

後援 福島民報社 福島民友新聞社 テレビユー福島 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 ふくしまFM ラジオ福島 (伊達市観光物産交流協会) ※順不同

## 特別な日に特別なお料理を

私たちの時間は、膨大な「日常」の積み重ねで成り立っている、と言えます。仕事、勉強、家事といった積み重ねは、時として「成功」などの「非日常」につながることもあります。また、単調な日常に、時には「非日常」を挟み込むことで、暮らしにメリハリがつく、ということもあります。

誕生日、結婚記念日、さまざまな長寿の祝いなどのスペシャルデイ。また、花見、暑気払いなど、季節ごとの楽しみや節目の日。それから自分への「ごほうび」。そんなとき、ちょっとぜいたくなお食事が、新たな「日常」へのエネルギーになることも。

つきだて花工房では「涼月会席 文月膳」を今年も開催します。会席料理とは和食のフルコース。お料理は一品ずつ、お食事の進み具合に応じてお運びいたします。冷たいものは冷たく、温かい物は温かくと、ベストの状態でお召し上がりいただけます。有数の酒処である福島の日本酒も、さまざまに取りそろえております。お得な宿泊付プランもご用意。ぜひお酒も楽しみながら、大切な方とのひとときを思い出深い「ハレ」の時間に。

「涼月会席 文月膳」予約が必要です  
日程 七月十二(木)・十三(金)・十四(土)  
各日とも十八時より  
料金 五,四〇〇円(日帰り)  
八,八〇〇円(宿泊朝食付)  
※ともに税込・飲物別

## お客様の声

◆浴室が暗く感じます。(ご入浴のお客様より)

◆花工房のお風呂の照明は、月館町の月をモチーフとしております。月の満ち欠けに合わせて三日月、満月の照明となっております。そのため少々暗く感じるのかもしれませんが、今度じっくり花工房の月をご覧ください。

◆花いっぱい花工房をまた楽しみにしています。百花繚乱の世界を演出して、毎日の労働で疲れた方々を美しい花々で癒してください。(霊山町 K.O様)

◆これから新緑、チューリップ、バラ、ポピーと花のきれいな季節が参ります。花の大国ふくしまフラワースタンプラリーにも掲載されました。ぜひお越し下さい。

◆ご担当の方の心遣い、笑顔で心地よい接待、お料理も満足しました。50周年記念にとっても良い時間を過ごさせていただきました。(川俣町 K.S様)

◆お客様の声を励みにふるさと花工房を目指して参ります。

木もれ日通信ではみなさまからのお便りを随時募集しております。郵便またはメールでも受け付けております。ぜひお寄せ下さいませ。



## 木もれ日61号プレゼント

ハンドメイド・ソープ

2種類セット



3名様にプレゼント

ご希望の方は官製はがきに住所、氏名、電話番号、年齢と木もれ日通信61号で印象に残った記事および感想をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送り下さい。平成29年6月25日の消印まで有効です。なお、ご記入頂いた個人情報につきだて花工房が責任を持って管理・保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させて頂きます。

木もれ日通信60号プレゼント当選者  
渡辺ツギ子様 (伊達市)  
渡辺 則子様 (福島市)  
米田美津子様 (千葉県)  
森岡 哲郎様 (本宮市)  
宍戸 峰子様 (伊達市)

## 編集後記

春になると「花ワサビ」を求めるお客様が増える。いつになったら重い腰を上げるのかな、国は。

花は大好き。でも花粉症！くしゃみ、もやもやに負けず今年もマスク持って、花見に出かけるぞー！

4月に入り通勤途中で見かける初々しい若葉マークをつけた車。そんな時もあったなあと思いにふける今日この頃。事故には十分気を付けて。

昨年は5輪しか咲かなかった木蓮の木に、今年は数え切れないほど花芽がついていて、楽しみです。

〈厚子〉



月の明かりで疲れた心を癒したい。いまずかカレンダーにチェック!!

5/11(木) 6/9(金) 7/9(日)

5/26(金) 6/24(土) 7/23(日)

休館日 5/16、6/13、7/11 (全て火曜日)